

■ インターネットIR情報

当社は、株主・投資家の皆さまにタイムリーでわかりやすい情報発信を目指し、ホームページの充実をはかるなど、IR活動の向上に取り組んでいます。

キーウェア IR <https://www.keyware.co.jp/ir/>

■ IR情報

■ 個人投資家の皆さまへ
より深く当社グループをご理解いただくために個人投資家の皆さまへ向けた情報を発信しております。

■ 決算説明(動画配信)
決算説明の動画を資料とともに配信しております。業績報告や今後の戦略などについてご説明しております。

KEYWARE TIMES

株主通信 Vol.31

第57期 第2四半期(累計)事業報告
2021年4月1日~2021年9月30日

特集 キーパーソンに聞く
SI事業の取り組みと
今後の戦略

キーウェアソリューションズ 株式会社

〒156-8588 東京都世田谷区上北沢5-37-18
経営企画部 広報IR室
<https://www.keyware.co.jp>



本誌は、植物性インキを使用しています。

※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

IT can create it.

キーウェアソリューションズ 株式会社
東証第二部 3799

お客様のデジタルトランスフォーメーションを実現し
持続的な事業成長と企業価値向上を目指します。



代表取締役社長

三 田 昌 弘

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、「基盤事業*の拡大と収益向上」「新規事業の創出・育成」「社員の成長と活躍を推進」を主要方針として取り組みを進めております。当第2四半期連結累計期間において、基盤事業では収益性の高い大型請負案件や一次請け案件の受注拡大を推進いたしました。お客様のデジタルトランスフォーメーション(DX)実現に向けた需要を取り込むべく、当社の強みであるERPパッケージを活用した基幹システム刷新案件の提案活動を積極的に展開したほか、新たな技術や製品・ソリューションの活用を進めました。また、本年5月に兼松エレクトロニクス株式会社およびキヤノンマーケティングジャパン株式会社との間でそれぞれ資本業務提携を締結し、早期のシナジー創出に向けて両社それぞれと連携し取り組みを進めております。新事業では、農業ICT、ヘルスケア領域での事業育成を継続するとともに、新規顧客獲得に向けてDXファーストステップソリューション(企業のデジタル化を支援する業務最適化コンサルティングや各種ITソリューション)のラインナップを拡充し提案力の強化をはかりました。社員の成長と活躍の推進に向けては、DX、IoT等の最新技術や業務スキルの習得に向けた新たな研修プログラムを開始するなど教育・研修の充実をはかりました。また、社員一人ひとりが能力を発揮し、安心して働くことができるよう働き方改革の推進や健康経営に取り組みました。

こうした取り組みの結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の受注高は

8,708百万円(前年同期比438百万円減、4.8%減)、売上高は8,663百万円(同532百万円増、6.6%増)、営業利益は70百万円(前年同期は29百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は138百万円(前年同期比111百万円増、416.8%増)となりました。

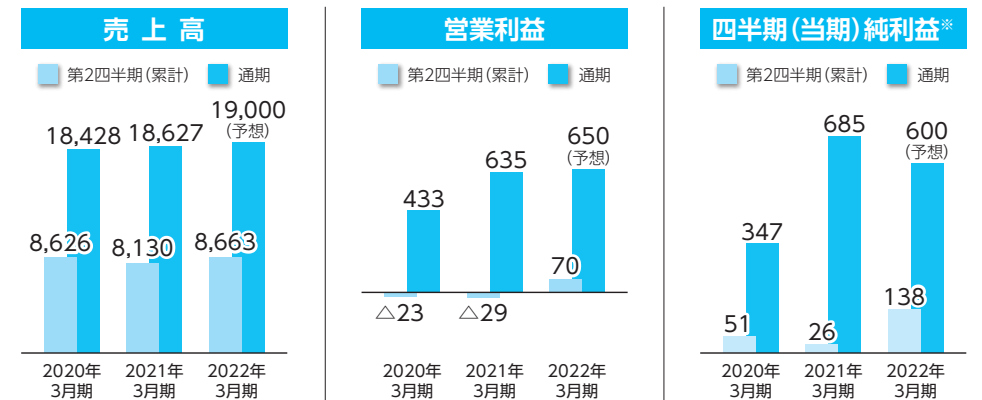
また、本年8月に農業ICT領域に特化した子会社「株式会社オーガル」を設立しました。新会社では農業ICTソリューション「OGAL(オーガル)」を活用した熟練農業者の技能継承を支援するサービスを提供するとともに、これまで蓄積した栽培ノウハウとITソリューションを組み合わせることで農作物の栽培に取り組むなど活動の幅を広げ、より競争力の高いサービス・事業の創出を目指していく予定です。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

* 当社グループの売上高の大部分を占めるシステム開発事業とSI事業を基盤事業と位置付けております。

連結業績ハイライト

(単位：百万円、単位未満切り捨て)



* 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益を表記しています。

▶ 連結業績に関して、より詳細な情報を決算説明動画で配信しています。裏表紙に記載のQRコードからご覧ください。

SI事業の取り組みと今後の戦略

▶ SI事業を統括する末綱執行役員と奥山IT基盤構築本部長に聞きました。

Q SI事業の事業領域と特徴について教えてください。

末綱：SI事業のお客さまは、システム開発事業とは異なり大半が民間企業です。主な事業領域は、企業への基幹システムの導入とSIサービス*で、多様な業務課題の解決に向けて、コンサルティングからソフトウェア開発も含めたITの導入、構築、運用までをトータルで提供するのが特徴です。基幹システム導入では、「SAP」「IFS」「Biz」といった各種ERPパッケージを活用した導入実績を数多く有していることが我々の強みです。このほか、卸・小売領域の業務システム開発やホテルソリューションの導入、インフラ基盤の構築なども行っています。近年はインフラ基盤のクラウド化の流れが加速しており、当社でも対応を強化しています。

Q SI事業におけるお客さまのニーズ、それに対するキーウェアの取り組みを教えてください。

末綱：近年は、経済産業省が警告する「2025年の崖」に向けてデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進が叫ばれており、その大前提として、まず既存の老朽化したシステムを刷新し、ERPを活用した基幹システムを導入したいというニーズが非常に高まっています。この状況をチャンスと捉え、我々が最も得意としている基幹システム導入案件を積極的に取り込み、プライム案件（最終顧客から直接受注する案件）を拡大していく方針です。製品メーカーやコンサルティング会社との連携に加え、今年、資本業務提携契約を締結した兼松



執行役員 SI事業担当 末綱 琢也

エレクトロニクス株式会社やキャノンマーケティングジャパン株式会社との協業により営業活動の裾野を広げ受注拡大につなげていく考えです。

また昨年、今後需要が見込まれる大規模案件に対応する組織としてIT基盤構築本部を設置しました。

Q IT基盤構築本部の事業内容や役割などについて教えてください。

奥山：当本部は、大型のプライム案件を中心にインフラ構築からアプリケーション開発、導入、保守までを一気通貫で行っています。株式会社NTTデータ・ビズインテグラルが提供する「Biz」を中心とした基幹システムの構築を強みにしており、自社開発の業務特化型テンプレートとしてITサービス業向けの「プロジェクト採算管理・役務購買統合テンプレートfor Biz」と「商社／販社向け貿易テンプレートfor Biz」を保有しています。いずれも多くの引き合いをいただいております。最近では大手IT企業や大手商社に導入していただきました。また、新たな取り組みとして、2つのテンプレートを自社のSIサービスとして導入するだけでなく、他社にライセンス販売することにも力を入れています。



IT基盤構築本部長 奥山 雅文

Q 今後の展開についてお聞かせください。

末綱：DX化の流れが加速する中、基幹システムの更改需要はさらに増えると見えます。現状ではSI事業の売上は当社グループ全体の約3割ですが、プライム案件の受注拡大をはかり、売上比率を高めていきます。そのために必要なのが、人材育成です。SI事業は、お客さまに寄り添い、どう課題を解決するかというコンサルティング部分が重要ですので、今まで開発を担当してきた人材のローテーションを進め、開発にもITコンサルティングにも強い人材を育てていきます。

※ お客さまのニーズに合わせて、ハードウェアやソフトウェアを組み合わせる最適なシステムを構築するサービス。

>>> Brand-New Business

■ アステリアとPlatioサブスクリプションパートナー契約を締結

当社は、「Platio（プラティオ）」の販売代理店として、アステリア株式会社と「Platioサブスクリプションパートナー」契約を締結しました。



Platioは、誰でも簡単に自社業務にフィットするモバイルアプリを作成できるクラウドサービスです。当社では、お客さまのデジタル化を支援するため、DXファーストステップソリューションとして、業務最適化コンサルティングやAI-OCRソリューションなどの各種ITソリューションをお客さまの事情に合わせて提供しています。Platioをラインナップに加えることで、お客さまのDX推進をより強力にサポートしてまいります。

>>> Brand-New Business

■ 農業ICT領域に特化した子会社「株式会社オーガル」を新設

2021年8月、農業ICT領域に特化した子会社「株式会社オーガル」を設立しました。当社はこれまで、自社開発した農業ICTソリューション「OGAL（オーガル）」を活用し、熟練農業者の技能を可視化し技能継承を支援するサービスを提供してきました。新会社では本事業を引き継ぐとともに、蓄積した栽培ノウハウとITソリューションを組み合わせることで農作物の栽培に取り組むなど活動の幅を広げ、より競争力の高いサービス・事業の創出を目指してまいります。

■ 株式会社オーガルの概要

代表者	代表取締役社長 吉村 和晃
資本金	1,000万円
事業内容	栽培技能の継承を支援する農業ICTサービス「OGAL(オーガル)」シリーズの提供、ICTによる農業DXソリューションの企画・開発・提供、農業ICTに関するコンサルティング、農産物の生産・加工・販売等

>>> Partnership

■ 優れたセールspartnerとして提携先2社より表彰

当社は、キヤノンITソリューションズ株式会社より、2021年度のWebPerformer販売活動において、多大なる貢献をしたとして、3回目となる「WebPerformerエクセレントアワード」を受賞しました。また、株式会社NTTデータ・ビジネスインテグラルからは、2020年度のBiz「事業発展に大きく貢献したパートナー企業に贈られる「Biz」Partner AWARD 2021 Superior Award」を受賞しました。「Excellent Award」等の受賞も含め6回目の受賞となります。これからもパートナー企業と連携し、豊富な開発経験と高い提案力を活かして、お客さまの発展に寄与してまいります。

CSR活動 - Myじんけん宣言 -

当社は、法務省が推進する「Myじんけん宣言」プロジェクト*の趣旨に賛同し、誰もが人権を尊重し合う社会の実現を目指す「Myじんけん宣言」を表明いたしました。当社グループは、人権の尊重をCSR方針の重要な柱の1つとして位置付けており、さまざまな取り組みを通じて、従業員が個の能力を十分に発揮し成長できる企業を目指してまいります。

* 企業、団体および個人が、人権を尊重する行動をとることを宣言することによって、誰もが人権を尊重し合う社会の実現を目指す取り組み。



当社では、毎年「CSR報告書」を発行しております。当社ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

▶ <https://www.keyware.co.jp/about/csr/report-index.html>



第2四半期(累計)連結財務諸表(要約)

単位：百万円、単位未満切り捨て

四半期連結貸借対照表

	前 期 2021年 3月31日現在	当第2四半期 2021年 9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	7,074	5,724
固定資産	3,236	3,561
有形固定資産	94	94
無形固定資産	257	302
投資その他の資産	2,883	3,163
資産合計	10,310	9,286
(負債の部)		
流動負債	4,148	2,112
固定負債	113	113
負債合計	4,261	2,226
(純資産の部)		
株主資本	5,931	6,954
その他の 包括利益累計額	117	105
純資産合計	6,048	7,059
負債純資産合計	10,310	9,286

POINT 資産の部

投資有価証券などの増加はありましたが、受取手形、売掛金及び契約資産などの減少により前期末比1,024百万円減少の9,286百万円となりました。

POINT 負債の部

短期借入金、賞与引当金などの減少により前期末比2,035百万円減少の2,226百万円となりました。

POINT 純資産の部

資本剰余金、利益剰余金の増加および自己株式の減少により前期末比1,011百万円増加の7,059百万円となりました。
その結果、当四半期末の自己資本比率は、76.0%となりました。

四半期連結損益計算書

	前第2四半期 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	当第2四半期 2021年4月1日から 2021年9月30日まで
売上高	8,130	8,663
売上原価	6,959	7,324
売上総利益	1,171	1,339
販売費及び一般管理費	1,200	1,268
営業損益	△29	70
経常利益	37	175
親会社株主に帰属する 四半期純利益	26	138

POINT 売上高

官庁系、公共系、ERP系が堅調に推移したことにより前年同期比532百万円増加の8,663百万円となりました。

POINT 経常利益

売上高の増加、利益率の改善および持分法適用会社の利益の増加などにより175百万円の利益計上となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	当第2四半期 2021年4月1日から 2021年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	312	950
投資活動による キャッシュ・フロー	△32	△293
財務活動による キャッシュ・フロー	△233	△688
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	47	△32
現金及び現金同等物の 期首残高	1,218	1,095
現金及び現金同等物の 四半期末残高	1,265	1,063

POINT 連結キャッシュ・フロー

営業CFは、税金等調整前四半期純利益の計上、売掛金の回収等により950百万円のプラス、投資CFは、投資有価証券の取得等により293百万円のマイナス、財務CFは、自己株式の売却収入はありましたが、短期借入金の返済により688百万円のマイナスとなりました。その結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は前期末比32百万円減少の1,063百万円となりました。

株式情報

(2021年9月30日現在)

Stock Information

株式情報

- 発行可能株式総数
……………36,440,000株
- 発行済株式総数
……………9,110,000株
- 株主数
……………4,177名
- 主要法人株主
株式会社HBA
兼松エレクトロニクス株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
日本電気株式会社
住友生命保険相互会社
株式会社JR東日本情報システム
株式会社三井住友銀行

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会、期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
【郵便物送付先】	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
【電話照会先】	(フリーダイヤル)0120-782-031
【インターネット ホームページ URL】	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
公告掲載方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部

株式に関するお手続き

- 住所変更等のお届出およびご照会について
お取引の証券会社にお問い合わせください。証券会社の口座のご利用がない株主さまは上記の三井住友信託銀行の電話照会先にお問い合わせください。
- 未払配当金のお受取りについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行にお申出ください。

会社概要

(2021年9月30日現在)

Corporate Data

会社概要

商号	キーウェアソリューションズ株式会社
住所	〒156-8588 東京都世田谷区上北沢5-37-18
創立	1965年5月
資本金	17億37百万円
売上	186億27百万円(2021年3月期・連結)
従業員数	1,123名(2021年3月31日現在・連結)
取得認証・認定	品質マネジメントシステム登録事業者 プライバシーマーク使用許諾事業者 情報セキュリティマネジメントシステム登録事業者 環境マネジメントシステム登録事業者 子育てサポート企業 くるみん認定 健康経営優良法人2021(大規模法人部門)認定

役員

代表取締役社長	三田 昌弘	監査役	ささ ほん 茂 男
取締役	あら かわ しん 一	監査役	さわ だ のぶ 伸 行
取締役	お がわ とし かず 一	社外監査役	たき た ひろし 瀧 田 博
取締役	さい とう いく お 斉 藤 郁 夫	社外監査役	おお た けん いち 大 田 研 一
取締役	か とう てつ ろう 加 藤 徹 郎		
社外取締役	おか だ かつ とし 岡 田 勝 利		
社外取締役	の だ まき こ 野 田 万 起 子		
社外取締役	ステファン グスタフソン		

※取締役 岡田 勝利、野田 万起子、ステファン グスタフソンおよび監査役 瀧田 博、大田 研一は、東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員です。